

石動中部地区 意見交換概要

日時 令和4年8月 22 日(月)19:30～21:00

場所 市民交流プラザ

出席 20 名

No.	発言要旨	市長回答要旨
1	今石動城の復元について。児童クラブで今石動城を活かした活動をしてはどうかとの提案があった。しかし、コロナの影響やクマ・ヘビが出るため、歩いていくことができない。ある程度、道中や駐車場は整備されたが、多くの車は行けない。土砂崩れなど危険な箇所ではあるが、整備し、観光の一路となればと思う。	今石動城跡地を観光資源の目玉にしようと少しずつ策定・計画の準備を進めてきた。看板や道路の整備をしてきたが、工作物をつくることは史実と異なっていると捉えられるので、様子を見ている。今石動城は眺望が非常に良いので、地権者の了解を得て、伐採し、眺望を良くした。山城ファンに来てもらおうと道路の整備もした。教育委員会を中心に、観光資源としてどう活かせるか研究をしている。
2	先日、空き家調査の依頼があり、調査をした。城山町では空き家が8軒あり、そのうちの1軒の庭木や家財が市道に出ている。都市建設課に相談したところ、直ぐに家財の撤去や木を伐採することは法律上出来ないとのことだった。対策としては、持ち主に書面で家財の撤去や木の伐採のお願いを出すことだけであった。市で対応してほしい。	現地を確認したところ、倒壊しそうではなかったので老朽危険空き家には至らなかった。所有者に片付けてくださいとお願いし続けているが、良い回答をいただいていない。
3	アスファルトについて。城山町は殆どが坂になっており、豪雨になるとすごい勢いで道路に雨水が流れていく。アスファルトのひび割れが多く、そこに雨水が入り、のり面が崩れたり道路が陥没したりするので、道路の修繕・舗装をお願いしたい。	現地を確認し、対応する。
4	大河ドラマ誘致の取組は、どのようなことをしているのか。	大河ドラマ誘致は、足掛け13年目に入った。小矢部市は、義仲・巴連携推進会議の幹事市になっており、市の最重点要望として、NHKに要望へ行っている。何故決まらないのかと検証したところ、史実に基づいた資料が少なすぎることだった。これまで大河ドラマはノンフィクションとしてきたが、今回の「鎌倉殿の13人」は、半分はフィクションではないかとも思う。脚本が大切であること考え、戦略を変えながら実現したいと思っている。